

2024 ねん9がつごう (no. 263) **やすとしよかん**

ほんかん	10:00~18:00 (火ようび~日ようび)	でんわ 077-586-0218 ファクス 077-587-5976
ちゅうずぶんかん	10:00~17:15 (火ようび~日ようび)	でんわ・ファクス 077-589-3382
ホームページ	https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/	



こどもむけイベントのお知らせ

★おはなしの森

9月1日、8日、15日、22日、
29日(日) 10時30分~

場所: おはなしコーナー

絵本やかみしばいをよみます(3歳~)

★ちっちゃなおはなしの森

9月12日(木) 11時~

場所: おはなしコーナー

赤ちゃんから楽しめるおはなし会です

★ちっちゃなおはなしの森 in 中主

9月26日(木) 11時~

場所: 中主分館 (赤ちゃんから)

9月のとしよかんカレンダー ※の日はお休み

日	月	火	水	木	金	土
1 おはなしの森	2	3	4	5 館内整理日	6	7
8 おはなしの森	9	10	11	12 ちっちゃなおはなしの森	13	14
15 おはなしの森 ☆よふかし☆	16	17	18	19	20	21
22 おはなしの森	23	24	25	26 ちっちゃなおはなしの森 in 中主	27	28
29 おはなしの森	30					

★★としよかんで夜更かし★★

9月15日(日) 18時30分~22時 夜のおそい時間まで図書館を特別に開館します

♪19時から「よるのとしよかんコンサート」もあります(1時間くらい)



『にじ』

武田康男/監修・写真 小杉みのり/構成・文

(岩崎書店) K451

にじは、あめあがりに、おともなくそらにあらわれる。にじをみたことがある? なぜ、にじはみえるのかな? にじのひみつをうつくしいしゃしんとともに、しょうかいします。



『パインさんのごちゃませかんばん』

レオナード・ケスラー/さく 小宮由/やく

(大日本図書) K933/77

かんばんやのパインさんは、町中のかんばんをつくりかえることになりました。ところが、だいじなめがねをなくしたままかんばんをとりつけたために、たいへんなことに!?



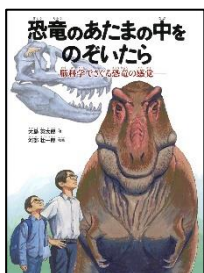
あたらしくはいったほん

『恐竜のあたまの中をのぞいたら』

大島英太郎/作 河部壮一郎/監修

(福音館書店) E/33

大むかしの恐竜たちは、どんなふうにもわりを見たり、音を聞いたり、においをかいだりしていたのだろうか。恐竜のあたまの骨には、それを知る手がかりがいっぱい。最先端の技術と研究で恐竜のひみつにせまる1冊。



『うちのキチント星人』

佐藤まどか/作 (フレーベル館) K913/41

はとこのあつくんと、いっしょにくらすことになった千歌。「やさしそうなおにいちゃんがができる」と期待していたのに、会ってみると、あつくんはなんでもきちんとして「キチント星人」だった! おおざっぱな千歌はうまくやっていけるか不安で...



『子ぎつねと音のなる石』

くすのきしげのり/作 酒井以/絵
(あかね書房) K913/7X

ジンは、きままに旅をしながらいろいろな場所で歌をうたっている音楽家。旅の途中の小さな宿で歌をくちずさんでいると、ふしぎな女の子に出会い石をわたされる。それは、たとく美しい音のなる「カンカン石」で…。



『歌うねずみウルフ』

ディック・キング=スミス/作 杉田比呂美/絵
三原泉/訳 (偕成社) K933/キ

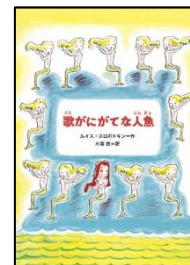
ウルフガング・ア・マウス・モーツァルトは、長い名前を持つ13ひききょうだいの末っ子ちびねずみ。毎日その長い名前のせいで兄弟ねずみにからかわれてばかり。でも、ウルフは、すばらしい才能を持っているんです♪



『歌がにがてな人魚』

ルイス・スロボドキン/作
小宮由/訳 (瑞雲舎) K933/7D

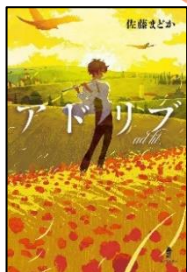
とおい海のそこにある人魚の国には、りっぱなおとなの人魚になるための学校がありました。そこでは、いろいろなことを学ぶのですが、なかでもたいてつなのは歌うこと。でも、ひとりだけ歌が好きなのに歌うことがにがてな人魚がいて…。



『アドリブ』

佐藤まどか/著 (あすなろ書房) K913/4T

母と二人、イタリアのトスカナ州の田舎町で暮らしているユージ。あるひ、無料のコンサートでフルートの音色と出会う。やがて、難関の国立音楽学院に入学するが、クラシック音楽界



『どうぶつたちのオーケストラ』

イーロー・オーリンズ/文
ティボル・ゲルゲイ/絵
小池昌代/訳 (講談社) E/ト

ここはどうぶつたちがぐらすまち。こんやは楽しいおんがく会。いろいろなどうぶつが、がっきをもってステージへ。さあ、まちいちばんのおとこまえのかばさんが、しきしゃでとうじようしたら、おんがく会のはじまりです♪



おとが あふれ てる

『あきちゃった!』

アントワネット・ポータイス/作
なかがわちひろ/訳
(あすなろ書房) E/7キ

まいにち“チュン”と、おなじうたをうたうのにあきてしまった、ちやいろいことり。へんてこりんうたが いいなあ、と“アチャピッピポケプー!”とうたってみました。「いいかんじ!」とおもったのに、カラスに「ちやいろいことりは、チュンとなくんだ!」とおこられてしまった。



『モニカさんのハーモニカ』

いとうひろし/作 (あかね書房) K913/1H

ゆうめいなハーモニカふきのモニカさん。ある日、ハーモニカ作りのハンダじいさんからの手紙を読んで、じぶんの音をさがすための旅にでました。さあ、モニカさんは、どんな音を見つけることができるのでしょうか?



『オーケストラ笑う』

小澤一雄/作・絵
(ポトス出版) K764

オーケストラってどんなもの? いろんな楽器が集まって色んな曲を演奏する。それだけじゃない!! この本を読んで、オーケストラを楽しもう

